



Global Gold September Campaign



“3rd WHO Global Initiative for Childhood Cancer (WHO GICC) in Tokyo 2023”

2030年までに、小児がんの治癒率を60%以上に

世界のすべての
がんの子どもを
救おう

参加
無料

日時：2023年9月23日(土)午後2時～5時
受付開始13時15分

場所：国立がん研究センター研究所1階 大会議室
現地開催 及び オンライン配信 (同時通訳:日本語・英語)

参加申込
及び
その期間

9月1日(金)から9月22日(金)まで

現地参加：150名(先着順)

オンライン参加：500名(先着順)



参加申込



<https://mocc4u.org/?p=3348>



主催：アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG)、国際小児がん学会アジア大陸 (SIOP Asia)、
NPO 法人小児がん・まごころ機構 (MOCC)

後援：厚生労働省、国立がん研究センター、国立成育医療研究センター、UICC日本委員会、UICC-ARO、日本小児がん研究グループ、日本小児血液・がん学会、アマゾンジャパン合同会社、がんの子どもを守る会、アジア・チャイルドケア・リーグ、ハートリンク共済、ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、キャンサーネットジャパン、患者さんにウィッグと帽子を提供する会、パルサポートキッズの会、クラブサポート、量子医療推進機構、パープルソングスキャンフライ、キッズミュージカルTOSU、ティーンズミュージカルSAGA

問合せ先：東京事務局 GGSC20230923@mocc4u.org (イベント専用アドレス)



14:00

総合司会 古賀 真美 NPO 法人がんネットワークジャパン 常務理事

主催者挨拶兼趣旨説明 中川原 章 アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) 会長
NPO 法人小児がん・まごころ機構 理事長

挨拶 自見 はなこ 参議院議員
大坪 寛子 厚生労働省 健康局長
カルロス ロドリゲス・ガリンド 米国セントジュード・グローバル会長
ディーナ・ミレッド ヨルダン王妃 国際対がん連合 (UICC) 元会長
堀 浩樹 国際小児がん学会アジア大陸 (SIOP Asia) 会長

< 小児がん治療支援チャリティーライブ テーマソング > :

“My Hero ~ 奇跡の唄 ~” (坂本龍一作曲・つんく作詞) による応援メッセージ

基調報告 1 ジレルモ・シャンタダ (SIOP 会長)
「COVID-19 後の SIOP と WHO GICC」

基調報告 2 アンドレ・イルバウイ (WHO がん担当統括官)
「混迷する世界の中の WHO GICC」

< ビデオタイム > : 小児がんの子どもたちとアマゾン

基調報告 3 岩田 明子 (元 NHK 解説委員・フリージャーナリスト)
「こどもホスピスの現場から」

寄付贈呈式 金子 卓司 (アマゾンジャパン合同会社 従業員代表)

休憩

15:30

地球規模パネルディスカッション 「世界的規模で、がんから小児及び若年成人の命を救うために」
司会: ゴッドフリー・チャン (香港), ラシュミ・ダルビ (インド) (APHOG, SIOP)

1) パキスタン 「貧困と小児がん」
ゲスト: 小児がん患者の家族
インタビュー: サダフ・アルタフ (アガ・カーン大学病院)

2) カンボディア 「小児がんの子どもを救うためのアクション」
ゲスト: リ・シービン (小児がん患者、骨肉腫)
インタビュー: 嘉数 真理子 (NGO ジャパン・ハート)

3) 日本 「小児がん経験者に可能性を！」
ゲスト: 渡邊 雅子 (小児がん (骨肉腫) 経験者・パラクライミング日本代表)
インタビュー: 渡辺 和代 (NPO アジア・チャイルドケア・リーグ)

コメンテーター/オンサイト SIOP-Asia 堀 浩樹 (JCCG, SIOP Asia 会長 & APHOG)
日 本 松本 公一 (JCCG; SIOP Asia 2024 学会長 & APHOG)
日 本 入江 佳代子 (小児がん経験者)

コメンテーター/オンライン APHOG プルナ・クルクレー (インド; SIOP, INPOG & APHOG)
アルメニア ゲボルグ・タマミヤン (SIOP Asia 2023 会長)
インド ラマンディーブ・アローラ (INPOG & APHOG)
タ イ パンヤ・セクサルン (ThaiPOG & APHOG)

ショータイム: 「小児がん克服へのゴスペル」 Wonderful Shalom!

閉会の挨拶 中釜 斉 国立がん研究センター 理事長